

2010年度

科目名	発達心理学		
担当教員	熊野 道子		
配当	教福2・人社2	コード	53460
開期	通年	講時	金曜日3限
		単位数	4
授業テーマ	(前期)生涯にわたる発達を理解する。(後期)発達心理学の理論から、実際の事例における乳幼児期の特徴を理解する。		
目的と概要	(前期)受胎から死にいたる人の生涯にわたる発達を見通すことができるように発達心理学に関する知見を講義する。(後期)前期に学んだ発達心理学の基礎知識をもとに、実際の子どもの事例(エピソードや映像)を説明できるようにすることを目的とする。		
成績評価法	試験と平常点によって総合的に評価します。		
テキスト	無藤隆・藤崎真知代(編著)「発達心理学」北大路書房(2009)		
参考書	岡本依子他(著)「エピソードで学ぶ乳幼児の発達心理学」新曜社(2004)		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達心理学とは 2. 胎児期・新生児期 3. 乳幼児期 (1) 運動の発達 4. 乳幼児期 (2) 情動の発達 5. 乳幼児期 (3) ことばの発達 6. 乳幼児期 (4) 愛着と親子関係 7. 乳幼児期 (5) 認知の発達 8. 児童期 (1) 友達関係の発達、教師との関係 9. 児童期 (2) 携帯電話 10. 児童期 (3) いじめ・不登校 11. 青年期 (1) アイデンティティの発達 12. 青年期 (2) 恋愛 13. 成人期 親としての発達 14. 高齢期 15. 前期のまとめ 16. 乳幼児の発達心理学とは 17. 新しい世界へ① (発達の原理、子どもの居場所) 18. 新しい世界へ② (環境移行、関係の移行) 19. 人や物とかかわる① (ひとみしり、見知らぬ他者や物との関係づくり) 20. 人や物とかかわる② (仲間関係、保育場面での仲間関係) 21. 人や物とかかわる③ (秘密を分かり合う関係へ、親子関係の理解の発達) 22. 人や物とかかわる④ (役割取得の発達、ジェンダー) 23. 自分に気づく 24. 感じてあらわす 25. 世界を知る① (二項関係から三項関係へ、ピアジェの発達理論) 26. 世界を知る② (心の理論、記憶の発達、時間概念の発達) 27. 世界を知る③ (模倣、想像力の発達、子どもの描画) 28. 話して伝える① (言語発達、言い誤り) 29. 話して伝える② (話しことばの発達、読み書きことばの発達) 30. 後期のまとめ 			